

「OpenOffice.org テンプレート講座」テキスト

2007年03月12日

中本崇志

bluedwarf@bpost.plala.or.jp

<http://bd.tank.jp/>

1 はじめに

1.1 この資料の内容

本テキストは、[2007年01月度 LILO Monthly Seminar](#)「OpenOffice.org マスターへの道～テンプレートを使いこなす～」の参考資料を元に、[オープンソースカンファレンス 2007 Tokyo/Spring](#)「OpenOffice.org テンプレート講座」向けに改定をしたものです。本テキストと「OpenOffice.org テンプレート講座」で使用したスライドは中本崇志のホームページにて公開しています。

<http://bd.tank.jp/presentation/>

1.2 著作権とライセンスについて

この資料の原著者は中本崇志です。

この作品は、クリエイティブ・コモンズの表示-継承 2.1 日本ライセンスの下でライセンスされています。この使用許諾条件を見るには、

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/2.1/jp/>

をチェックするか、クリエイティブ・コモンズに郵便にてお問い合わせください。住所は:559 Nathan Abbott Way, Stanford, California 94305, USA です。

1.3 OpenOffice.org のバージョンについて

本テキストでは、OpenOffice.org のバージョンは 2.1 を用いて解説しています。UI 表記や操作方法がその他のバージョンとは異なるかもしれませんのでご注意ください。

2 テンプレートの作り方 と使い方

2.1 テンプレート機能の有効範囲

テンプレート機能は、Writer(ワードプロセッサ)、Calc(表計算)、Impress(プレゼンテーション)、Draw(図形描画)で利用可能です。また、テンプレートに関する操作方法は、これらの4つのアプリケーションで共通です。

Math(数式エディタ)や Base(データベース)にはテンプレートの機能はありません。

2.2 テンプレート の作り方

普通のドキュメントと全く同じように作ります。テンプレートとしては、フォントやページの余白などを設定しておき、定型文を入力しておくくと便利です。

2.3 テンプレート の保存 の仕方

保存するときに、テンプレートファイルとして保存しなければいけません。

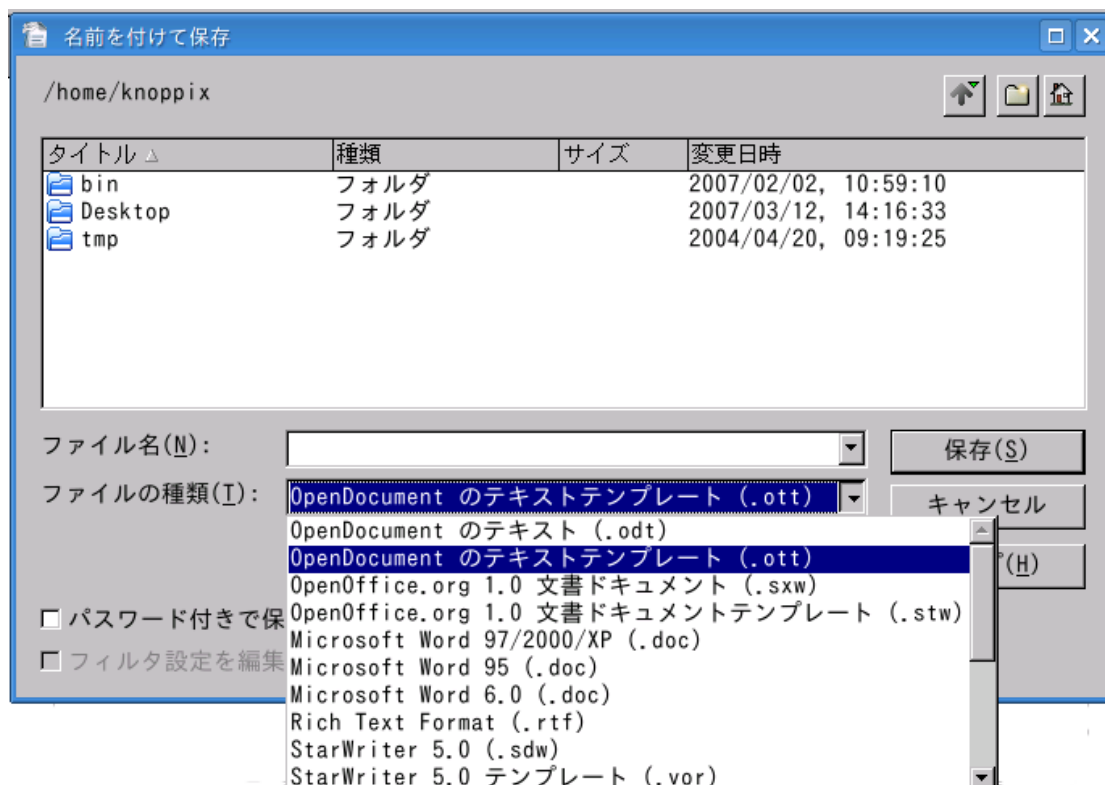


図 1: テンプレートとして保存

2.4 テンプレート の使い方

保存したテンプレートファイルを普通に開くだけです。その際に、「無題 n」として開かれる(新規作成に相当する)ので間違ってテンプレートファイルを上書きしてしまう心配がなくなります。

2.5 テンプレート のインポート

テンプレートをインポートしておくことで少しだけテンプレートの扱いが楽になります。また、インポートしておかないとテンプレートに関する機能の一部(標準テンプレートの設定など)が使えません。ぜひ、インポートしておきましょう。

1. メニューから [ファイル] - [新規作成] - [テンプレートとドキュメント] を選択します。「テン

プレートとドキュメント」ダイアログが表示されます。(図 2)

2. 「テンプレートとドキュメント」ダイアログにて、[管理] ボタンをクリックします。「ドキュメントテンプレートの管理」ダイアログが表示されます。(図 3)

※メニューから直接 [ファイル] – [ドキュメントテンプレート] – [管理] を選択しても同じダイアログが表示されます。

3. 「ドキュメントテンプレートの管理」ダイアログにて、左側のリストの中から適当なフォルダ(「自分のテンプレート」を選択するのがおすすめ)を右クリックします。(図 4)
4. [テンプレートのインポート] を選択します。「開く」ダイアログが表示されます。
5. ファイルダイアログにてインポートしたいテンプレートを選択し、[開く] ボタンをクリックします。すると、テンプレートが追加されます。

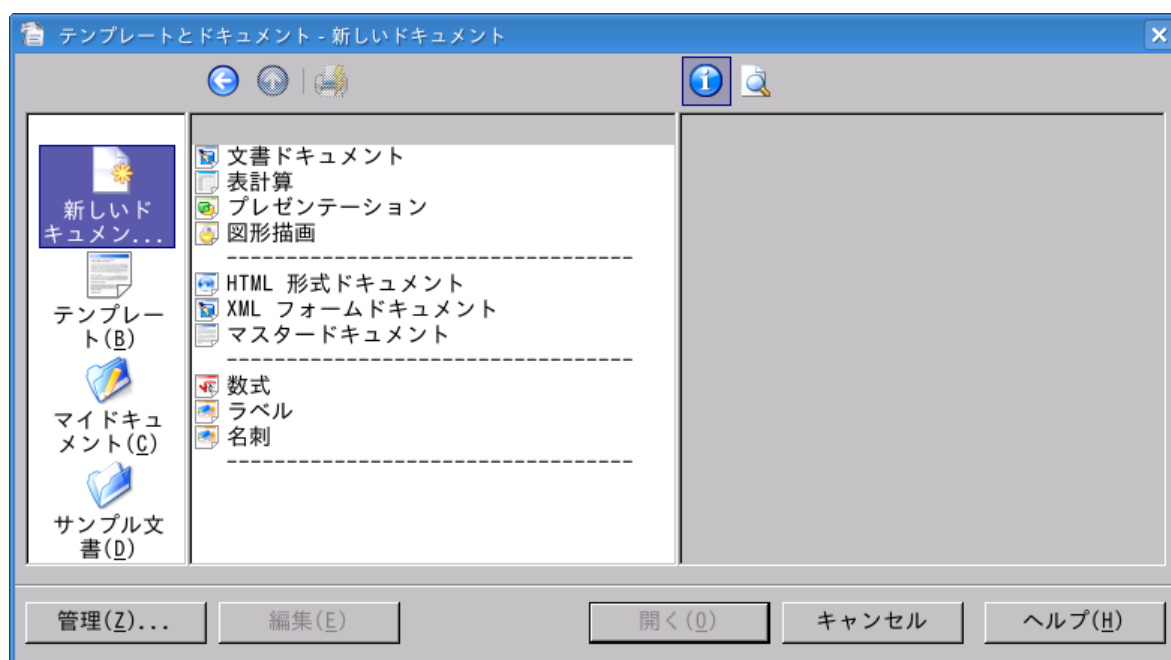


図 2: 「テンプレートとドキュメント」ダイアログ

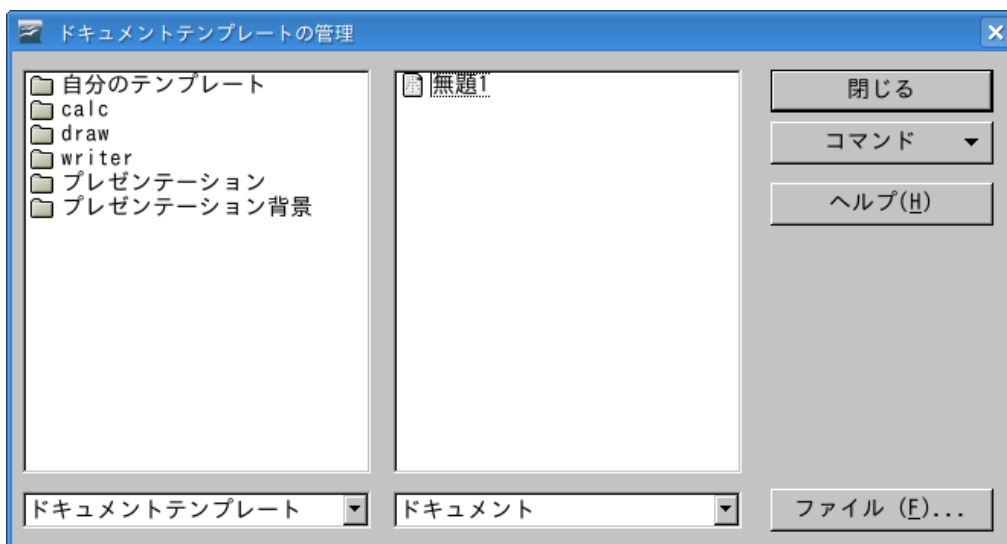


図 3: 「ドキュメントテンプレートの管理」ダイアログ



図 4: 「テンプレートのインポート」を選択するところ

2.6 Tips: 編集中のドキュメントをテンプレートとしてインポートする

ここまでの手順ではテンプレートをインポートするために、一度テンプレートファイルとして保存し、それをインポートするという方法をとってきました。しかし、今編集中のドキュメントをそのままテンプレートとしてインポートすることができるので、その方法を以下に説明します。

1. テンプレートとしてインポートするドキュメントを開いておきます。
2. [ファイル] – [ドキュメントテンプレート] – [保存] を選択します。「ドキュメントテンプレート」ダイアログが表示されます。(図 5)
3. [範囲] リストの中からテンプレートを保存する範囲名を選択します。(「自分のテンプレート」を選択するのがおすすめ)
4. [新しいドキュメントテンプレート] の直下にテンプレートの名前を入力して [OK] ボタンをクリックします。

すると、編集中だったドキュメントがそのままテンプレートとしてインポートされます。

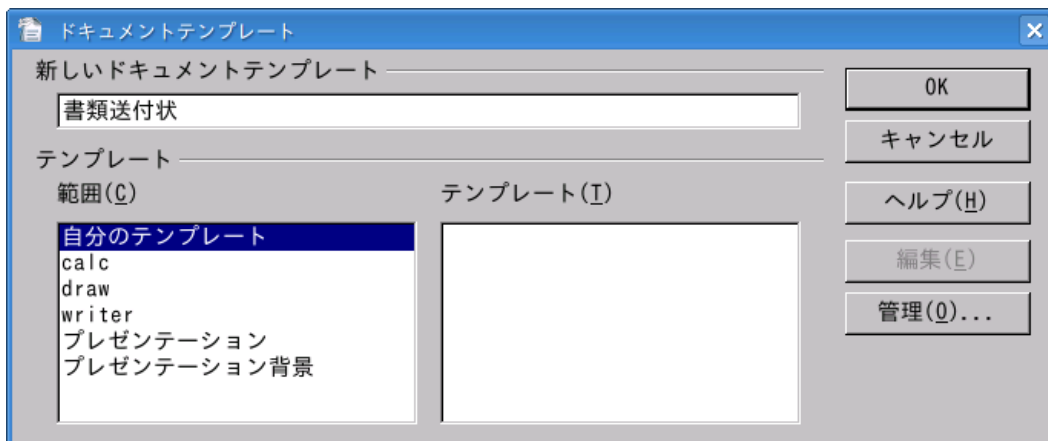


図 5:ドキュメントテンプレートの保存

2.7 Tips: テンプレート の表示 名を変更する

インポートしたテンプレートがダイアログに表示される際には、デフォルトでファイル名が表示されます。マルチバイト文字が許されないような環境で使う場合にはこれでは不便です。しかし、タイトルをあらかじめ設定してあるテンプレートの場合には、そちらが優先的に表示されるので、ファイル名とは異なった名前を表示したい場合には、以下の手順にしたがってタイトルを設定してください。

1. タイトルを設定するドキュメント/テンプレートをあらかじめ開いておきます。
2. メニューから [ファイル] – [プロパティ] を選択します。「プロパティ」ダイアログが表示されます。]
3. 「プロパティ」ダイアログの [概要] タブをクリックします。
4. [タイトル] 欄にタイトルを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

これでタイトルが設定されます。このドキュメントをテンプレートとして保存し、インポートすれば、このテンプレートの表示名は [タイトル] 欄に入力した文字列になります。

2.8 インポート した テンプレートを使う

1. メニューから [ファイル] – [新規作成] – [テンプレートとドキュメント] を選択します。「テンプレートとドキュメント」ダイアログが表示されます。
2. 左側のアイコンリストの中から [テンプレート] のアイコンをクリックします。
3. 「テンプレートとドキュメント」ダイアログの真ん中のリストにフォルダが表示されていない場合には「1 つ上のフォルダへ」ボタンをクリックします。
4. 次に、インポート先の範囲(例えば「自分のテンプレート」)をダブルクリックします。その範囲にインポートされたテンプレートが一覧表示されます。(図 6)

5. インポートしたテンプレートを選択し、[開く] ボタンをクリックします。

これで、インポートしたテンプレートを元に新しいファイルが「無題 n」として新規作成されます。

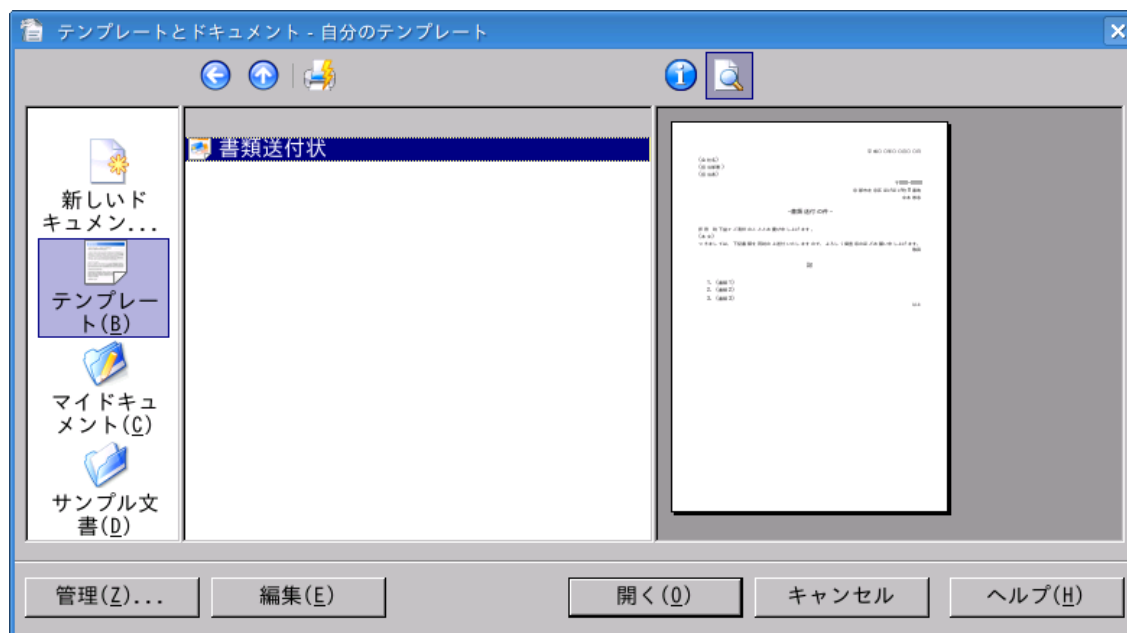




図 6: インポートしたテンプレートのプレビュー表示

ちなみに、「テンプレートとドキュメント」ダイアログの右上にある  ボタンをクリックすると、テンプレートのプレビュー表示になり、 をクリックするとテンプレートに関するメタ情報(タイトルや最終更新日など)が表示されるようになります。

2.9 インポートしたテンプレートを編集する

テンプレートを作ってみたはいいものの、もしそのテンプレートが気に入らなかった場合にはテンプレートを再編集するとよいでしょう。すでにインポートしてしまったテンプレートは、「テンプレートとドキュメント」ダイアログを使えば簡単に再編集をすることができます。

1. メニューから [ファイル] - [新規作成] - [テンプレートとドキュメント] を選択します。「テンプレートとドキュメント」ダイアログが表示されます。
2. 左側のアイコンリストの中から [テンプレート] のアイコンをクリックします。
3. 「テンプレートとドキュメント」ダイアログの真ん中のリストの中からインポート先のフォルダ(例えば「自分のテンプレート」)をダブルクリックします。そのフォルダにインポートされたテンプレートが一覧表示されます。
4. インポートしたテンプレートを選択し、[編集] ボタンをクリックします。すると、Writer、Calc、Impress、Draw のうちどれか適切なアプリケーションでそのテンプレートファイルが開かれます。
5. テンプレートを編集します。

6. 編集し終わったらそのまま上書き保存します。

これで、インポートしたテンプレートの再編集ができます。

2.10 Web からダウンロード可能なテンプレート

Web 上には様々な OpenOffice.org のテンプレートがあります。”OpenOffice.org Template”で検索するといろいろ出てきますが、ここでは代表的なものを2つだけ紹介します。

- http://documentation.openoffice.org/Samples_Templates/index.html
OpenOffice.org Documentation プロジェクトのもの (英語)
- 素材 OOo
日本語のテンプレート/クリップアート集。[4.2 テンプレートパッケージとは](#)を参照。

他にも、StarSuite に付属しているテンプレートが低価格で売られていたりします。

3 標準テンプレート

3.1 標準テンプレートとは

OpenOffice.org では、メニューから [ファイル] - [新規作成] - [文書ドキュメント] などを選択したり、あるいはショートカットキー [Ctrl + N] を押したときに、新しい何も入力されていないドキュメントが作成されます。このときに使われるテンプレートが標準テンプレートです。つまり、標準テンプレートとして設定したテンプレートは、わざわざそのテンプレートを選ばなくても、新規作成をするだけでそのテンプレートが使われるようになるのです。一番よく使うテンプレートを標準テンプレートとして設定しておくのが便利です。

ちなみに、標準テンプレートは Writer、Calc、Impress、Draw の各アプリケーションごとに1つずつだけ設定することができます。

3.2 標準テンプレートを設定する

1. あらかじめテンプレートはインポートしておきます。
2. メニューから [ファイル] - [新規作成] - [テンプレートとドキュメント] を選択します。「テンプレートとドキュメント」ダイアログが表示されます。
3. 「テンプレートとドキュメント」ダイアログにて、[管理] ボタンをクリックします。「ドキュメントテンプレートの管理」ダイアログが表示されます。
※メニューから直接 [ファイル] - [ドキュメントテンプレート] - [管理] を選択しても同じダイアログが表示されます。
4. 左側のリストの中から標準テンプレートに設定するテンプレートを右クリックします。
※フォルダの中を表示するには、そのフォルダをダブルクリックします。
5. [標準テンプレートとして設定] を選択します。(図 7)

これで標準テンプレートの設定が完了です。試しに新規作成をしてみると、正しく標準テンプレートが設定されたかどうかを確認することができます。

当然のことながら、Writer で作成したテンプレートは Writer の標準テンプレートとして設定され、Calc で作成したテンプレートは Calc の標準テンプレートとして設定されます。

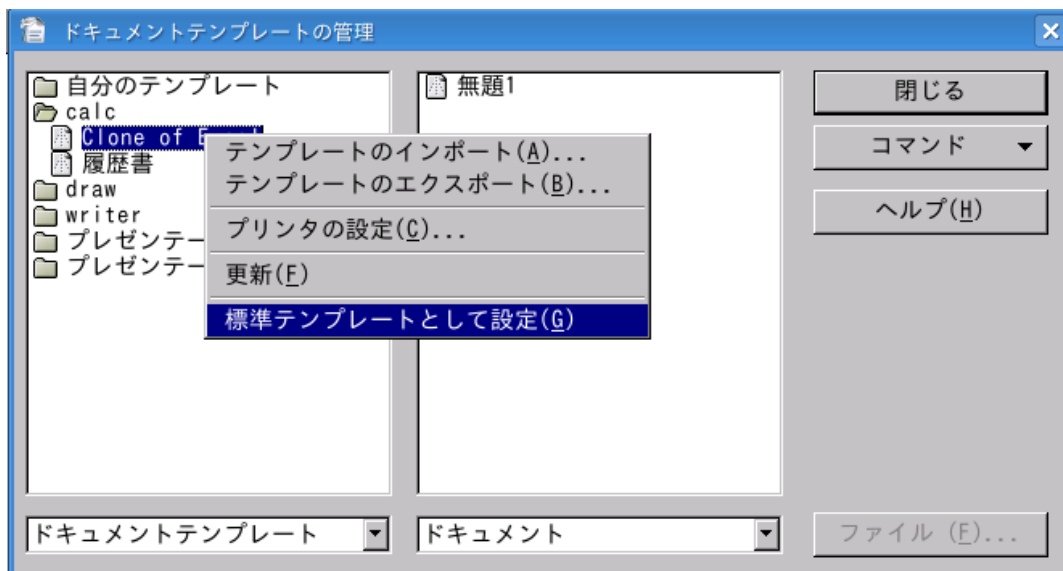


図 7: 標準テンプレートの設定

3.3 標準テンプレートを元に戻す

標準テンプレートをインストール時の状態に戻したい場合には、

1. メニューから [ファイル] - [新規作成] - [テンプレートとドキュメント] を選択します。「テンプレートとドキュメント」ダイアログが表示されます。
2. 「テンプレートとドキュメント」ダイアログにて、[管理] ボタンをクリックします。「ドキュメントテンプレートの管理」ダイアログが表示されます。
※メニューから直接 [ファイル] - [ドキュメントテンプレート] - [管理] を選択しても同じダイアログが表示されます。
3. [コマンド] ボタンをクリックします。メニューが表示されます。
4. Calc の標準テンプレートをインストール時の状態に戻したい場合には、[標準テンプレートを元に戻す] - [表計算ドキュメント] を選択します。(図 8)

これで、Calc の標準テンプレートはインストール時のものになります。他のアプリケーションについても同様にして標準テンプレートを元に戻すことができます。

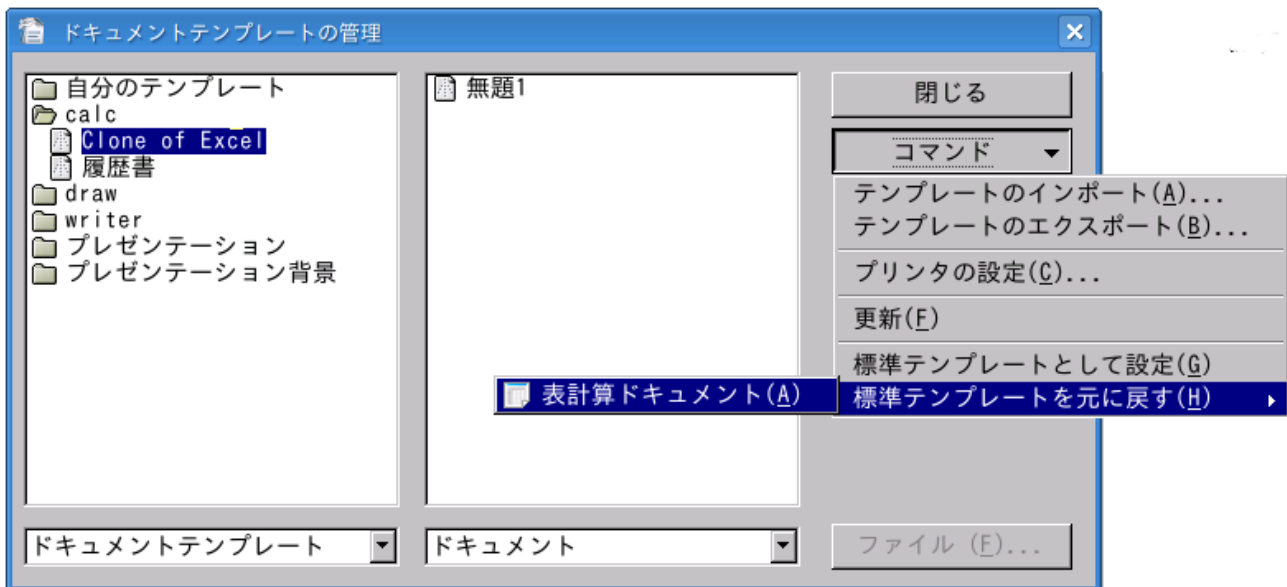


図 8: 標準テンプレートを元に戻す

3.4 標準テンプレートの有効活用

Linux においては標準のフォントというものがありません。ディストリビューションごとに異なるか、あるいはディストリビューションによってはユーザが自分で日本語を扱える TrueType フォントをインストールしなければならないかもしれません。

すると、想定したフォントとは違うフォントが、OpenOffice.org ではデフォルトで使われていることがあります。そんなときは、フォントの設定のみを変更した真っ白なテンプレートを標準テンプレートとして設定するとよいでしょう。

また、その他にも

- ページの余白などの設定をすませたテンプレート
- あらかじめ全体に外枠を設定しておいた Calc のテンプレート

といったものを標準テンプレートに設定しておくとう便利になるでしょう。

4 拡張機能とテンプレート

4.1 OpenOffice.org の拡張機能

OpenOffice.org は以前から、外部アドインをインストールすることによって OpenOffice.org 自身の機能を拡張する機能がありました。OpenOffice.org 2.0 からはパッケージマネージャというツールが付属しているので、これを使えば簡単に外部アドオンをインストールしたりアンインストールしたりすることができます。OpenOffice.org 2.0.4 からこの機能が刷新され、テンプレートもこの機能を使ってインストールができるようになりました。

また、OpenOffice.org 2.1 よりも前のバージョンでは外部アドオンのことを UI 表記では「パッ

ページ」(英語では、Package)として表示していましたが、OpenOffice.org 2.1 ではこれらを「拡張機能」(英語では、Extension)として表記するようになりました。

今のところあまり多くの拡張機能は出回っていませんが、そのうちいろんな拡張機能ができるようになると思います。以下の Wiki は英語ですが、

http://wiki.services.openoffice.org/wiki/Extensions_repository

から様々な拡張機能をダウンロードすることが可能です。ちなみに、拡張機能ファイルの拡張子は“oxt”です。

4.2 テンプレート パッケージとは

複数のテンプレートを1つにまとめたファイルのことを「テンプレートパッケージ」とこの資料内では表記することにします。Firefoxなどで“Extension”という単語に慣れている人にとっては“Template Extension”という風に英語で理解した方が分かりやすいかもしれません。

テンプレートパッケージには、複数のテンプレートを収録しておくことができ、拡張機能をインストールする機能を使うと、これを簡単にインストールすることができます。また、OpenOffice.orgでは拡張機能を各拡張機能ごとに管理することができます。つまり、少ない手順で複数のテンプレートをまとめてインストールしたりアンインストールすることができるようになります。

今のところテンプレートパッケージはほとんど出回っていませんが、これもまたそのうち出回るようになると思います。

- 「素材 OOo」

<http://bd.tank.jp/openoffice/extension/sozaiooo.html>

素材 OOo のテンプレートパッケージです。豊富な数の日本語のテンプレートの他、クリップアートも収録されています。

- 「中本崇志のテンプレート」(仮称)

http://bd.tank.jp/openoffice/impress_templates/index.html

には、私が個人的に配布している日本語のテンプレートがあります。

- 「German template collection」

http://wiki.services.openoffice.org/wiki/Extensions_repository

にはドイツ語のテンプレートがあります...って、そんなもん使わんか。

4.3 拡張機能のインストール方法

ここでは、一般的な拡張機能のインストール方法を説明します。テンプレートパッケージは拡張機能の1つなので、以下と全く同様の方法でインストールすることができます。

拡張機能(拡張子が oxt のファイル)はあらかじめダウンロードしてあるものとします。

1. [ツール] - [拡張機能マネージャー] を選択します。「拡張機能マネージャー」ダイアログが表示されます。(図 9)
2. リストの中から「マイ拡張機能」を選択し、[追加] ボタンをクリックします。「拡張機能の追

加」というファイルを選択するダイアログが表示されます。

3. 拡張機能(拡張子が oxt のファイル)を選択し、[開く] ボタンをクリックします。プログレスバーが表示され、インストールが進行していく様子が確認できます。
4. 場合によっては、ここでライセンス文に同意するよう求めるダイアログが表示されます。
5. インストールが完了するとプログレスバーは消え、拡張機能のインストールが完了します。
6. 最後に拡張機能が正しくインストールされたことを確認します。「マイ拡張機能」の左側の [+] をクリックすると、拡張機能一覧が表示されます(図 10)。インストールした拡張機能のステータスが「有効」と表示されていれば、インストールは成功です。

これで拡張機能のインストールは完了です。また、テンプレートパッケージをインストールした場合は「テンプレートとドキュメント」ダイアログでもインストールが完了したことが確認できます。

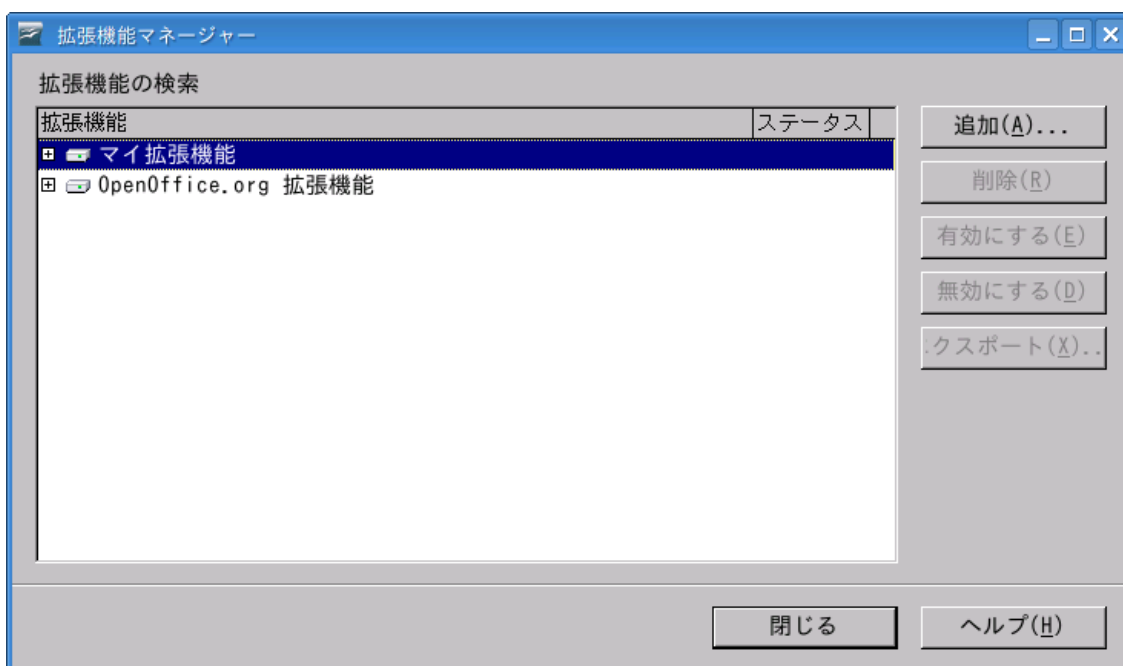


図 9: 「拡張機能マネージャー」ダイアログ

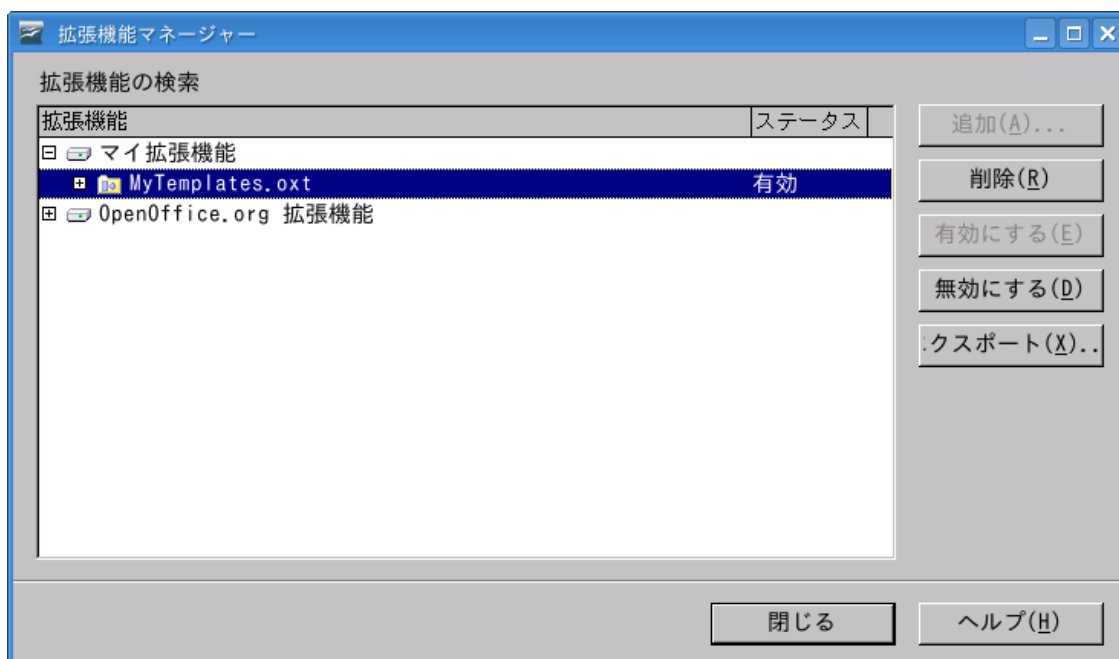


図 10: 拡張機能がインストールされたところ

4.4 拡張機能のアンインストール

1. [ツール] – [拡張機能マネージャー] を選択します。「拡張機能マネージャー」ダイアログが表示されます。
2. リストの中からアンインストールしたい拡張機能を選択し、[削除] ボタンをクリックします。プログレスバーが表示され、しばらくすると削除が完了します。
※使用中の拡張機能をアンインストールされては困るので、拡張機能マネージャーで削除をした拡張機能は、OpenOffice.org を終了するまで完全にはアンインストールされません。

4.5 テンプレート パッケージの作り方

自分で使う複数のテンプレートをテンプレートパッケージとしてまとめておくと、別のマシンでも同じテンプレートを使いたいというときに便利です。また、ある組織内で同じテンプレートを使いまわしたいという場合にもテンプレートパッケージとしてまとめておくと、それらのテンプレートの配布と導入のための作業効率が高まります。

テンプレートパッケージは、単に 2 つの XML ファイルと複数のテンプレートファイルを zip 圧縮しただけのものです。特殊なツールなどを使う必要もなく、簡単に作ることができるので、

http://bd.tank.jp/openoffice/extension/template_extension.html

を参考にぜひ自分でテンプレートパッケージを作ってみてください。

5 参考文献

- OpenOffice.org 日本ユーザ会「OpenOffice.org 2.0 オフィシャルユーザズガイド」(毎日コミュニケーションズ)
- 可知豊他「オープンガイドブック OpenOffice.org 2.0」(グッデイ)
 - <http://oosupport.good-day.net/ja/documents/manual/#openguidebook-OOo2.0>にて、本書の全文が[クリエイティブコモンズ「帰属 2.1 日本」ライセンス](#)のもとでダウンロード可能です。PDF 形式です。
- Jürgen Schmidt
”OpenOffice.org extensions infrastructure: what is, what it can, what is planned” (OpenOffice.org Conference 2006)
http://marketing.openoffice.org/ooocon2006/presentations/wednesday_d10.pdf
- “Non-code extensions” (OpenOffice.org Wiki)
http://wiki.services.openoffice.org/wiki/Non-code_extensions